



イチゴ



イチゴ



耐風・耐降雪型屋内農場「PUTFARM SUPREME」

事業化企業コラム

農林水産業分野

- 実施期間
2017~2019 年度
- 実用化開発場所
田村市

プランツラボラトリー株式会社

イチゴや葉菜類が育つ屋内農場は雪に強く、風にも強い信頼の設計

事業計画

耐気候型屋内農場における大型イチゴ生産の自動化

現状・背景

農業の担い手は、生産者の高齢化により急速に減少しています。これからの農業のためには、土地や経験を前提とした従来の農法や旧世代の植物工場の改良では不十分だと考えています。私たちは、屋内農場「PUTFARM」によって、就農経験が浅くても、安定的に生産できる農法を低コストで実現し、新たな農業の私たちを提案します。

研究(実用化) 開発のポイント・先進性

田村市船引(ふねひき)の実証試験地は、もともと畑です。10 m × 40 mほどの区画に耐雪型の PUTFARM を設置し水耕栽培しています。屋根の雪が滑り落ちる形状で、最大 40cm の降雪に耐え、鉄骨パイプとビニールを組み合わせるシンプルな工法のため短期間で設置可能です。アルミ製特殊金属膜で全体を覆い、外部の熱を遮断。内部で温度・湿度をコントロールすることで、気候を自在に作り出せるため、様々な果物や野菜を育成できます。また、台風を想定した耐風型も製作。沖縄で導入いただいております。食の安全に関する国際認証 GLOBAL.G.A.P の取得支援メニューを組み合わせ、栽培から販売まで採算効率の良い先進モデルの普及を図ります。なお、2019 年度に開発した「PUTFARM SUPREME」が 2020 年度グッドデザイン賞を受賞しました。

浜通り地域への経済波及効果(見込み)

高温と多湿に弱く、夏に供給が減るイチゴ。その品薄と高値を抑える通年商品として、ブランド化していきたいと考えています。手始めに、PUTFARM で栽培したものは首都圏のバイヤーには好評を得ています。今後高級スーパーやレストランに販売していく予定です。

イノベ機構による支援[※]

田村市のマルシェで当社のイチゴを初めて販売。見栄えの良さも食味も満足いただけました。販路を広げようと、出荷先・販売チャネルのマッチングをイノベ機構に依頼したのが 2020 年 12 月です。イノベ機構と連携する福島相双復興官民合同チームで営農再開を支援するメンバーが、南相馬市の小高マルシェを紹介してくださいました。これを機に福島県内でも田村産の農作物を多くの皆様に食べてもらえるよう取り組んでまいります。

プランツラボラトリー株式会社 福島イノベーションセンター所長
白井 真由美



※福島イノベーション・コスト構想推進機構(イノベ機構)によるイノベ構想関連開発技術の事業化支援(本冊子 P108 を参照)



法人概要

プランツラボラトリー株式会社

〒104-0061
東京都中央区銀座 3-4-1 大倉別館 5 階

創業 ▶ 2014 年 11 月 4 日
従業員数 ▶ 15 名
TEL ▶ 048-788-2343(本社代表)
URL ▶ <https://www.plantslaboratory.com/>